

GYODA 2

Feb.2017

No.848

市報ぎょうだ CITY PUBLIC RELATIONS

平成29年行



特集

地域包括ケアシステム構築への取り組み P.2

安心・安全を守る みんなの目 P.6

地域包括ケアシステムをイメージした「植木鉢」



生活の基盤となる「住まい」「生活支援」をそれぞれ植木鉢、土と捉え、専門的なサービスである「医療」「介護」「予防」を植物と捉えている。「住まい」が提供され、安定した生活を送るための「生活支援」があることが基本的な要素となる。そのような養分を含んだ土があって初めて専門的なサービスが効果的な役割を果たすことができる。



年を重ねても、住み慣れた地域で住み続けたい

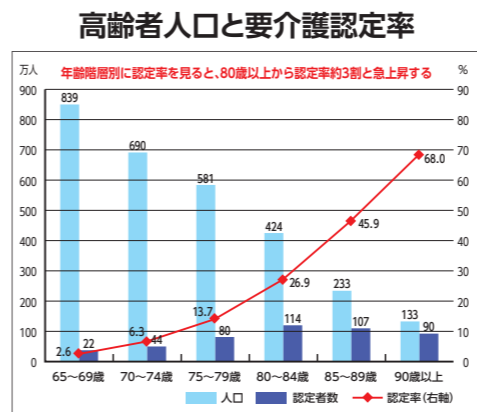
地域包括ケアシステム構築への取り組み

「いつまでも健康で自立した生活を送りたい」、「医療や介護が必要になっても住み慣れたまちで暮らしたい」、このような思いを抱く方は少なくありません。自分らしい生活を送っていききたいという願いをかなえる為の新たな取り組みが「地域包括ケアシステム」です。

高齢化社会の現状

現在、日本では、諸外国に例を見ないスピードで高齢化が進んでいます。本市でも同様に高齢化率が高まっており、平成28年9月1日現在で28.3%を超えています。いわゆる「団塊の世代（昭和22年～昭和24年生まれ）」が75歳以上になる2025年（平成37年）には、市民の3人に1人が65歳以上の高齢者となる見込みです。

この2025年における問題点は、高齢者人口が増加すること、支援が必要となる高齢者が増えることにあります。医療、介護を必要とする方々が増える反面、それを支える世代の減少が推測されており、高齢者の生活をいかに支えていくかが大きな課題となっています。



【出典】介護保険事業状況報告

2025年問題を解決するために

厚生労働省は、団塊の世代が75歳以上となる2025年を目途に、高齢者の尊厳の保持と自立した生活の支援を目的に、可能な限り住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるよう、住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される体制「地域包括ケアシステム」の構築を進

めています。2025年問題を解決するための鍵を握るこのシステムは、今後増加が見込まれる認知症高齢者のケアや地域での生活を支える上でも重要です。「地域包括ケアシステム」は、高齢者が住み慣れた場所で生活を続けることを支援するものであることから、保険者である地元自治体が地域の自主性や主体性に基つき、地域の特性に応じて作り上げていくことが求められています。

地域包括ケアシステム構築に向けて

このシステムでは「本人・家族の選択と心構え」が非常に大切です。住み慣れた地域で暮らし続ける方法として、在宅や施設利用などの選択肢があります。どのような生活を送りたいか、高齢者本人や家族が考え、互いに理解し、心構えを持つことが必要です。

この「本人・家族の選択と心構え」を土台とした上で、地域包括ケアシステムは①すまいとすまい方 ②生活支援・福祉サービス ③介護・リハビリテーション ④医療・看護 ⑤保健・予防の5つの構成要素で成り立っています。



5つの構成要素とは

5つの構成要素について、3つの観点から解説します。



生活支援サービスの様子

介護・医療・予防 (③～⑤)

個々の抱える課題に合わせて「介護・リハビリテーション」、「医療・看護」、「保健・予防」が専門職によって提供されることをいい、連携し、一体的に提供されるのが望ましいものです。これは、ケアマネジメント（支援計画）に基づき、必要に応じて生活支援と一体的に提供されます。



在宅医療・介護連携推進に係る多職種合同意見交換会の様子

医療・介護
医療や介護が必要となっても、安心して自宅で暮らし続けられるよう、在宅での医療や介護サービスの安定した提供が今後ますます重要となります。特に、75歳以上になると、慢性疾患や複数の病気を抱えていることが多く、医療と介護の両方を必要とすることが多くなります。このことから、高齢者の生活をサポートするために、在宅医療と介護の連携が重要となります。
現在、市では、医療・介護のそれぞれの充実に加え、その連携を強化する取り組みも進めています。

現場からのメッセージ

在宅での療養を支える 行田市医師会在宅医療支援センター



本人や家族からの在宅医療・療養に関する相談窓口として、平成28年3月に行田市医師会在宅医療支援センターを開設しました。

「高齢世帯で医療的ケアが心配」、「病気があるけど通院できない」など、通院困難な皆さんに在宅医療の相談・往診ができる医師の紹介や、往診を受ける患者の登録、入院ベッドの調整を行っています。住み慣れた地域で、安心して暮らしていただけるよう、これからもサポートしていきます。

▶問い合わせ 行田市医師会在宅医療支援センター（行田中央総合病院内）☎553-2060（月～金曜日午前9時～午後5時※祝日、年末年始を除く）

訪問歯科診療を支える 北埼玉地区在宅歯科医療推進窓口地域拠点



食事を口から食べることや認知症予防、肺炎予防のために、自分の歯や義歯、口全体を良い状態に保つことが必要ですが、歯科医院への通院が困難と感じている方も少なくありません。そこで、歯科治療の相談や訪問歯科診療を行っている歯科医院を紹介する窓口、「北埼玉地区在宅歯科医療推進窓口地域拠点」（対応地域：行田市、羽生市、加須市）を平成27年4月に開設しました。

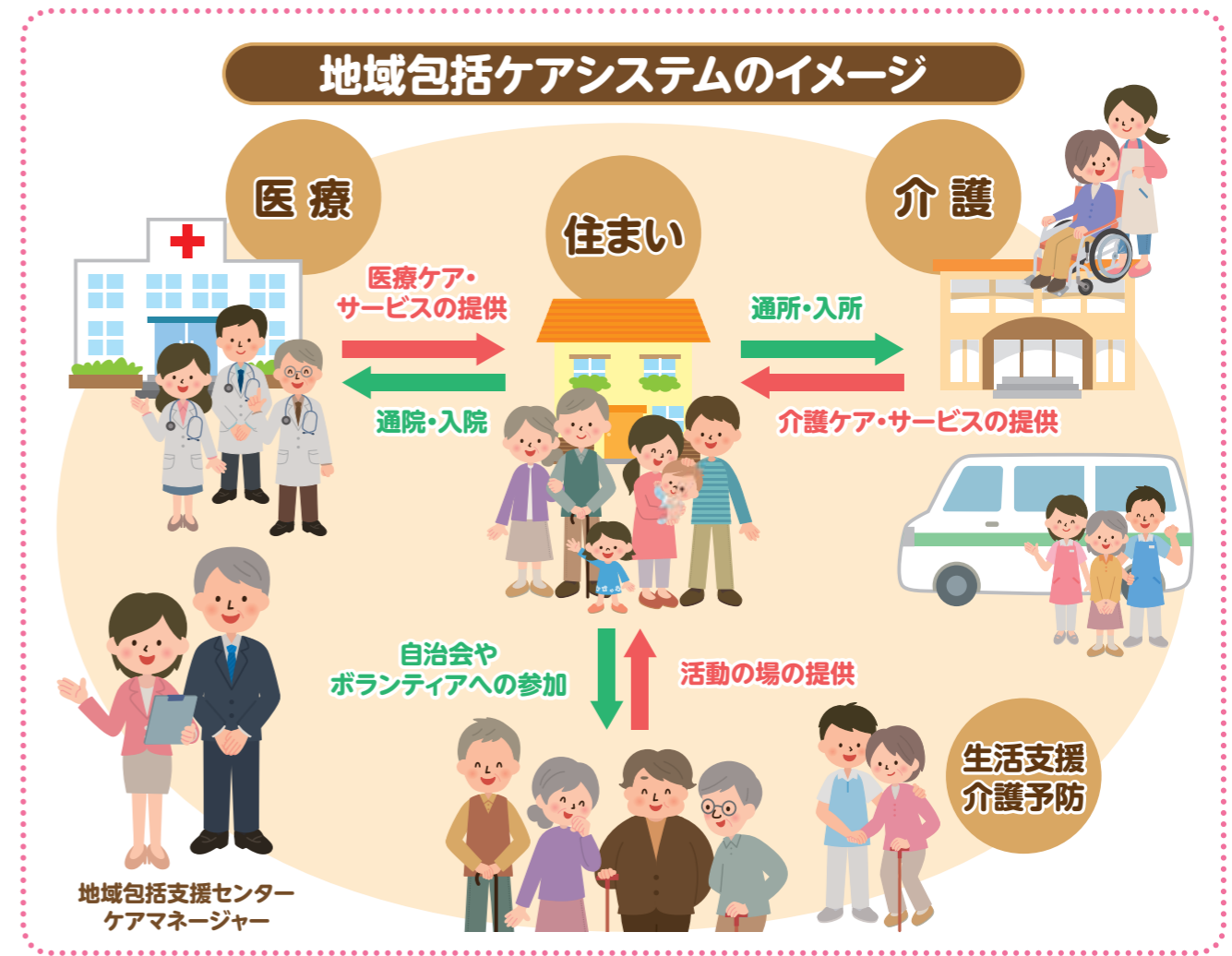
窓口では常に歯科衛生士が対応し、訪問歯科診療や入院時の歯科相談に応じています。いつまでも健康でいるために、口のケアから始めていきましょう。

▶問い合わせ 北埼玉地区在宅歯科医療推進窓口地域拠点 ☎080-1391-8020（月～金曜日午前10時～午後3時※祝日、年末年始を除く）

▼問い合わせ 高齢者福祉課地域包括ケア担当（内線338・278）

地域包括ケアシステムは、支え合いの地域づくりです。市では、これからも市民の皆さんや関係機関の皆さんとともに、安心して住み続けられる地域づくりを行ってまいります。

▼問い合わせ 機能強化型地域包括支援センター緑風苑 ☎57-3611、地域包括支援センター壮幸会 ☎552-1123、地域包括支援センターまきば園 ☎550-1777、地域包括支援センターふあみいゆ ☎558-0088



はつらつ教室の様子

行田市の取り組み
市では、医師会、歯科医師会、介護事業所、社会福祉協議会、民生委員協議会、地域包括支援センターなどの関係機関や市民の皆さんとともに、地域包括ケアシステムの構築に取り組んでいます。
介護予防
平成28年4月1日にスタートした介護予防・日常生活支援総合事業をはじめ、公民館や市内の公共施設、フィットネスクラブと提携した介護予防事業を展開しています。
いつまでも健康で介護を必要としない生活を続けるために、さまざまな取り組みを実施しています。

生活支援
市では、支え合いを基本理念とした「いきいき元氣サポーター制度」を委託運営しています。高齢者の生活をサポートしているのは、行政だけではなく、民間企業（宅配サービスや出張サービスなど）、社会福祉法人、協同組合、NPO、ボランティア、シルバー人材センターなどの機関がそれぞれの分野で生活支援を提供しています。
それらの機関が、ネットワークを組むことで、支え合いの体制を構築するとともに、不足する資源開発を行い、生活支援が必要な方へのサービス提供するための仕組みづくりを進めています。
住まい
住まいは、人が生活していく場として必要不可欠なものです。住み慣れた地域で暮らしていくための根幹を成すものになります。
住宅改修や、老人福祉施設の整備に限らず、サービス付き高齢者向け住宅や、公営住宅、老朽化した家屋の問題などのさまざまな課題に取り組む必要があります。





地域安全推進
連絡協議会会長
竹内 誠三郎 さん
(佐間)

地域防犯推進委員は、青パトのような全体の活動に加えて、15支部ごとに防犯活動を行っています。支部長を中心に、地域パトロールや文化祭でのキャンペーンなど積極的に行っています。防犯には人と人とのつながりが何より力になると思っています。青いベストの防犯推進委員を身近に感じて頼りにしてほしいし、これからは若い方にももっと参加してほしいです。

行田警察署
生活安全課長

小原 隆幸 さん



平成28年中の市内の犯罪件数は前年に比べ大幅に減少し、特に振り込め詐欺については21件から9件と大きく被害発生件数を抑えることができました。これは、防犯推進委員の方をはじめとする皆さんの地道な啓発活動が実を結んだ結果といえます。行田署員一同「安全で安心して暮らせる行田市」を目指してまいりますので、引き続き警察活動への協力をお願いします。

平成28年1月～12月の身近な犯罪の発生件数

地区	強盗	侵入窃盗				非侵入窃盗						合計	
		空き巣	忍び込み	その他	ひったくり	自動車盗	オートバイ盗	自転車盗	車上ねらい	工事場ねらい	部品ねらい		万引き
忍		1	2	2		1	1	5			1	3	16
行田	1		2	3				3	2				11
佐間			1	7		1	1	7	2			8	27
持田		1	1	6		2	1	19	7		1	26	64
星河		3	2	3	1		2	5	4	3		2	25
長野	1	2	1	2		2		17		1	1	15	42
荒木								12	1		1		14
須加		1						2	1				4
北河原	1	1				2		2				1	7
埼玉			2	8					2	1			13
星宮			1	3		1			1				6
太井				4		2	1	45	1	1	3	2	59
下忍		1		1			1		1				4
太田		2	2	2				4	7	2	2	6	27
南河原		2	1	2		1		2	3	2			13
H28年計	3	14	15	43	1	12	7	123	32	10	9	63	332
H27年計	1	49	11	22	0	10	33	131	55	—	35	92	439
増減	2	△35	4	21	1	2	△26	△8	△23	—	△26	△29	△107

※数字は概数、行田警察署調べ

さまざまな見守りの「目」

児童の登下校や夜間の巡回には、緑のベストを着た自主防犯活動団体が活躍しています。自主防犯活動団体は地域住民や企業などで構成され、市内に157団体があります。3千300人以上の団体が屋夜を問わず、自主的に地域の安全のために見守りを行っています。また、特定非営利活動法人ふるさと創生クラブの方々には青色防犯パトロールにもご協力いただいています。

さらに防災安全課には、警察OBの防犯囃話員が常駐しており、防犯パトロールや振り込め詐欺防止キャンペーンの実施、防犯出前講座の講師をしています。日々の困り事など警察に話すか迷うことがあれば、ぜひ同課にご相談ください。



安心・安全を守る
みんなの目



犯罪の多くは、人が見えない場所、人の目につかないような場所で発生しています。犯罪の発生を防ぐためには、その地域で暮らす住民自らが周囲に目配りをし、地域ぐるみで犯罪を抑止していくことが重要です。ここでは地域防犯活動への取り組みについて紹介します。

県内第2位の犯罪減少率

市内で発生する犯罪件数は年々、減少傾向にあります。平成28年における市内の刑法犯の認知件数は前年比21・1パーセント減少し、県内でも2番目に高い減少率となりました。このような犯罪抑制に大きく貢献しているのが地域防犯推進委員や自主防犯活動団体など地域の方々による防犯活動です。

防犯活動の要
地域防犯推進委員

地域防犯活動の中心となっているのが、約300人の地域防犯推進委員です。行田市防犯協会会長（行田市長）ならびに行田警察署長から委嘱を受けた地域防犯推進委員は、青いベストを着用し「地域の安全は地域で守る」という意識の下、青色防犯パトロール（通称：青パト）を中心とした活動に取り組んでいます。青パトとは、青色回転灯を装備する自動車に乗って行う自主防犯パトロールのこと。これは、犯罪者を捕まえるものではなく、「犯罪の機会を与えない」「不審者を発見する」といった犯罪の抑止を目的として実施しています。他にも振り込め詐欺防止のキャンペーン活動や児童の登下校の見守り、地域での啓発講座の開催などさまざまな防犯活動を行っています。

自主防犯活動団体に
登録しませんか

地域の安全を守るためには、市民の皆さんのさらなる協力が必要です。近所で集まった際に防犯グッズを身に付けて、近所をウォーキングする習慣を始めてみませんか。防犯グッズは市から支給されます。数人の集まりで構いません。興味がある方は同課防犯対策担当までご相談ください。

防犯出前講座を
利用しましょう

サークルやクラブ、自治会、会社、商店などで出前講座を行います。振り込め詐欺や不審者対策など、時には実践を交えてお話しします。内容によっては、行田警察署と合同で行います。

自分たちの地域の
安全を守るために

犯罪を防ぐためには、皆さんの目が必要です。地域に見慣れない人がいる、空き家の扉が壊されているなど、ちょっとした違いに気付くことが大きな犯罪を防ぐことにつながります。地域防犯活動に携わる多くの方の力と皆さん一人一人の気付きで、犯罪の無い住み良いまちをつくりましょう。

▼問い合わせ 同課防犯対策担当（内線2803）

農業委員会制度が変わりました

農業委員会等に関する法律が改正され、平成28年4月1日に施行されました。主な内容は次のとおりです。

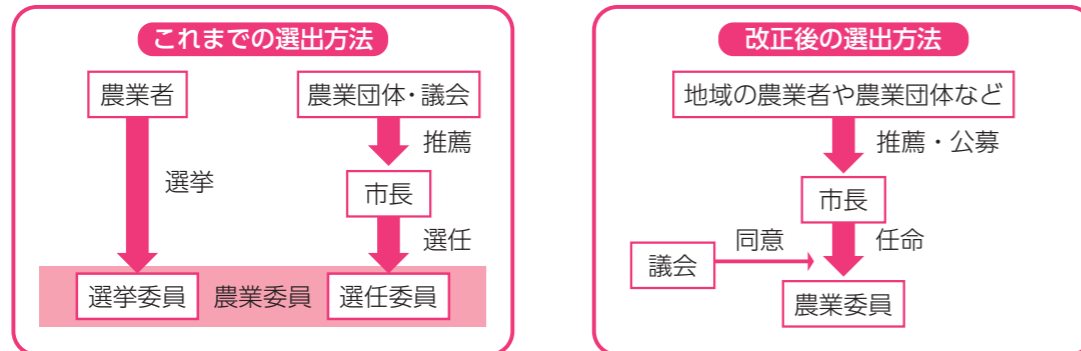
農業委員会の「農地等の利用の最適化の推進」に関する役割が強化されます

従来の権利移動などに関する許可業務に加え、農業委員会の業務の重点として、農地利用の最適化(担い手への農地利用の集積・集約化、遊休農地の発生防止・解消、新規参入の促進)の推進が必須業務となります。

農業委員の選出方法が公選制から市長による任命制へ変わります

農業委員の選出方法が、公選制から市議会の同意を要件とする市長の任命制へと変更となります。市長は任命する際、あらかじめ地域の農業者や農業団体などから候補者の推薦を求めます。また、広く一般からも公募を行います。なお、農業委員の定数は13人となります。具体的には、次に掲げる内容に従って任命することになります。

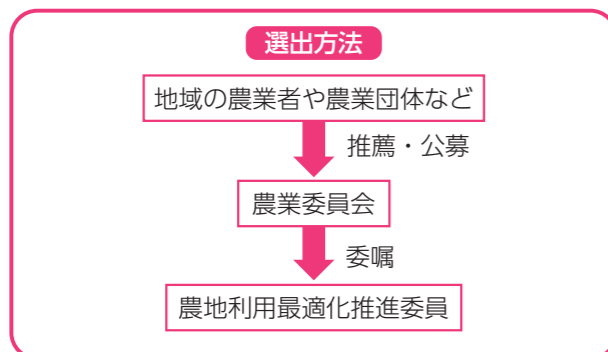
- ・農業委員の定数のうち過半数は、認定農業者とします。
- ・農業者以外の方で、中立な立場で公正な判断をすることができる者を1人以上含めます。
- ・農業委員の年齢、性別などに著しい偏りが生じないように配慮します。



※行田市では、経過措置により新たな選出方法による農業委員は平成29年7月20日以降となります。

農地利用最適化推進委員が新設されます

農業委員会は、農地利用の最適化の推進に取り組む体制を強化するため、農地利用最適化推進委員を委嘱することになります。農業委員会は、委嘱する際、農業委員会が定めた区域ごとに、あらかじめ地域の農業者や農業団体などから候補者の推薦を求めます。また、広く一般からも公募を行います。農地利用最適化推進委員は、農業委員会が定めた区域内の農地などの利用の最適化のための活動を農業委員と連携して行います。なお、農地利用最適化推進委員の定数は20人となります。



※行田市では、農地利用最適化推進委員は、平成29年7月20日以降に農業委員会から委嘱されます。

▶問い合わせ 農業委員会事務局(内線391)



池井戸潤氏の小説『陸王』 TBSテレビ 日曜劇場でドラマ化決定!

昨年7月に発売になった池井戸潤氏の小説『陸王』(集英社)。このほど、TBSテレビ日曜劇場においてドラマ化されることが発表されました。放送予定は10月より毎週日曜日の午後9時から。

主人公の宮沢紘一を演じるのは、役所広司さんに決定しているそうです。行田市を舞台としたドラマであり、市内でのロケーションも期待されます。行田市としてもドラマ「陸王」を応援してまいります。

▶問い合わせ 商工観光課観光担当(内線382・389)

役所広司さんのコメント

原作の中で“私は『陸王』というシューズを企画して、試行錯誤しながらここまで来た。その過程で色んなことを学ばせてもらったけど、中でも特に、教えられたのは人の結びつきだ”と言った宮沢社長は、決して経営者として才能ある人物ではないけれど、彼には、人を惹きつける不思議な魅力があります。

その魅力を試行錯誤しながら、見つけていこうと思います。

たくさんのユニークで魅力的な登場人物たちとドラマの中で会える日を楽しみにしています。

(TBSホームページより)

市指定文化財に「今津印刷所店蔵・主屋・土蔵」・「旧忍町信用組合店舗」が指定されました

平成28年12月22日、今津印刷所店蔵・主屋・土蔵(3棟・行田12-22)と旧忍町信用組合店舗(行田13-31)が、行田市指定文化財(建造物)に指定されました。この指定により市指定文化財は65件となりました。

今津印刷所店蔵・主屋・土蔵は、主要地方道行田蓮田線に西面する土蔵造り2階建ての店蔵と、それに続く平屋の主屋、その後ろに建つ2階建ての土蔵の3棟です。店蔵と主屋は、江戸時代後期の建築と推測される現存する市内最古の店蔵で、田山花袋の小説『田舎教師』に登場する“行田印刷所”のモデルにもなっています。明治時代の建設と推測される土蔵も含めて、本市の歴史的景観に欠くことのできない貴重な建造物であるといえます。

旧忍町信用組合店舗は、木造2階建ての下見板コロニアル様式の洋館です。この洋館は、現在の埼玉縣信用金庫の前身である忍町信用組合店舗として大正11年(1922)8月6日に開店した元銀行店舗で、その建設・運営には名誉市民の村上義之助氏が深く関わっていました。現存する市内では数少ない大正時代の洋館であり、足袋産業を支える重要な役割を果たした地元金融機関の店舗としても歴史的に重要な建造物であるといえます。

▶問い合わせ 文化財保護課文化財保護担当☎553-3581



今津印刷所店蔵・主屋・土蔵



旧忍町信用組合店舗

- ▶**要件** 農地利用の最適化の推進に熱意と識見を有し、担当する地区において、担い手農家への農地集積・集約化、遊休農地の発生防止・解消などの調整を行うことができる方。主な業務内容は次のとおりです。
 - ・農業委員と密接に連携し、担当する地区内の農地法などの申請内容について調査し、調査結果を報告します。
 - ・農地法などにに基づき、担当する地区内の農地の利用状況について調査を行います。
 - ・担当する地区内の農地の利用状況の調査を基に、遊休農地の解消など有効利用、違反転用防止などの活動を行います。
- ▶**報酬** 月額35,000円

いずれの委員も

▶**委員になれない方**

- ・破産手続開始の決定を受けて復権を得ない方。
- ・禁錮以上の刑に処せられ、その執行を終わるまで、またはその執行を受けることがなくなるまでの方。
- ▶**募集期間** 平成29年3月13日(月)～4月14日(金)(土・日曜日、祝日を除く)
- ▶**推薦・応募の方法** 適任と思われる方を、本人の同意を得て3人以上が団体代表者名で推薦、または自らの応募により、農業委員会事務局で配布している書類(市ホームページからダウンロード可)に必要な事項を記入し、持参してください。
- ▶**選考方法** 推薦または応募の理由、経歴、年齢、地域などを考慮し審査します。
- ▶**その他**
 - ・農業委員は、過半数が認定農業者であることや、農業者以外の方で、中立な立場で公正な判断をすることができる者を1人以上含めなければなりません。また、農業委員の年齢、性別などに著しい偏りが生じないように配慮します。
 - ・農業委員および農地利用最適化推進委員の身分は非常勤の特別職となり、業務には守秘義務が伴います。
 - ・農業委員と農地利用最適化推進委員は、同時に推薦・応募できますが、兼職はできません。
- ▶**問い合わせ** 農業委員会事務局(内線391)

農業委員・農地利用最適化推進委員を募集します

農業委員会等に関する法律の改正により、農業委員の選出方法が、公選制から市議会の同意を要件とする市長の任命制へと変更になりました。
また、農地の利用集積などについて、主に担当地区での活動を行う「農地利用最適化推進委員」を新設することになりました。そのため、農業委員および農地利用最適化推進委員の推薦・応募を受け付けます。

農業委員

- ▶**任期** 平成29年7月20日～平成32年7月19日
- ▶**委員定数** 13人
- ▶**要件** 農業に関する知識と熱意を持ち、農地利用の最適化等の推進に関する事項、その他の農業委員会の所掌に属する事項に関しその職務を適切に行うことができる方。主な業務内容は次のとおりです。
 - ・毎月開催される農業委員会定例総会へ出席し、農地法などの権限に属された事項の審議を行います。
 - ・農地法などにに基づく申請の調査や、農地の利用状況の調査および調査結果の報告などを行います。
 - ・農地の利用の最適化(遊休農地の有効活用、違反転用防止など)のための調整などを行います。
- ▶**報酬** 月額36,000円

農地利用最適化推進委員

- ▶**任期** 農業委員会が委嘱した日～平成32年7月19日
- ▶**委員定数** 20人

農地利用最適化推進委員の担当地区・募集人数

地区番号	担当区域	募集人数
①	行田、本丸、天満、城南、中央、宮本、栄町、旭町、向町、緑町、忍1・2丁目、大字忍、矢場1・2丁目、城西1・2・3丁目、佐間1・2・3丁目、大字佐間、谷郷1・2・3丁目、大字谷郷	1
②	大字小敷田、大字中里、大字皿尾	1
③	大字上池守、大字下池守、大字和田	1
④	大字斎条	1
⑤	大字北河原、大字酒巻	1
⑥	大字南河原	1
⑦	大字犬塚、大字馬見塚、大字中江袋	1
⑧	大字下中条、大字須加(字役田、字六反、字四ツ家、字船川、字小稻荷、字中原、字梅の木、字伊勢六、字大稻荷)	1
⑨	大字須加(⑧以外の字)	1
⑩	大字荒木(字柳町、字寿町、字根岸、字郷地裏、字羽鳥、字町屋、字音羽、字新堀、字宿ノ内、字野土、字内小谷、字相生、字田町、字荒木、字前内手、字前田、字高砂、字土手、字長善沼、字石橋、字六本木、字荒宿、字久保町、字相ノ谷)	1
⑪	大字小見、大字白川戸、大字荒木(⑩以外の字)	1
⑫	桜町1・2・3丁目、富士見町1・2丁目、藤原町1・2・3丁目、長野1・2・3・4・5丁目、大字長野、大字若小玉(字八反田、字勝呂、字中村、字鞘戸、字枳、字六本木)	1
⑬	大字小針、大字若小玉(⑫以外の字)	1
⑭	大字下須戸	1
⑮	大字藤間、大字真名板、大字関根	1
⑯	清水町、壺里山町、押上町、門井町1・2・3丁目、棚田町1・2・3丁目、西新町、深水町、持田1・2・3・4・5丁目、大字持田、城西4・5丁目、駒形1・2丁目、大字前谷	1
⑰	大字下忍、大字樋上、大字堤根	1
⑱	大字渡柳、大字利田、大字埼玉(字丸墓通、字富士山通、字上埼玉通、字曾根通、字宮前通)	1
⑲	大字埼玉(字中道通、字愛宕通、字下埼玉通、字百塚通、字下屋敷通、字中通、字大和田通、字前谷通、字諏訪通、字片原通、字稻荷通、字境松通、字二丁野通、字尾崎通)	1
⑳	大字野、大字埼玉(⑱以外の字)	1

行田市産業交流拠点整備基本計画(案)に対する市民意見募集(パブリックコメント)を行います

- 行田市産業交流拠点整備に向けた基本計画を策定するため、計画案について市民の皆さんからの意見を募集します。
- ▶**意見募集・閲覧期間** 2月6日(月)～17日(金)(土・日曜日を除く)
 - ▶**閲覧場所** 商工観光課、市政情報コーナー、南河原支所 ※市ホームページからも閲覧可。
 - ▶**対象**
 - ・市内に住所を有する方
 - ・市内で事業その他の活動を行う個人または法人その他の団体
 - ・市内に通勤または通学をする方
 - ・市に対して納税義務を有する方
 - ・上記の他、本案件に利害関係を有する方
 - ▶**提出方法** 各閲覧場所で配布している意見書(市ホームページからダウンロード可)に必要な事項を記入し、持参、郵送、FAX、Eメールのいずれかの方法で提出してください。【持参・郵送】〒361-8601 行田市本丸2-5 商工観光課【FAX】553-5063【Eメール】syoko@city.gyoda.lg.jp
 - ▶**意見の公表** 結果は、市ホームページなどでお知らせします。なお、個別の回答は行いません。
 - ▶**その他** いただいた個人情報は、本件以外の目的では使用しません。
 - ▶**問い合わせ** 同課産業振興担当(内線384)

行田市空家等対策計画(案)に対する市民意見募集(パブリックコメント)を行います

- 市では、人口減少社会の到来に伴い、全国的に増加傾向にある管理不全な空き家などに対応するため、空家等対策の推進に関する特別措置法の規定に基づいた「行田市空家等対策計画」の策定を進めています。
- この計画は、予防対策、特定空家などに対する措置、有効活用を基本方針とし、空き家などに関する対策を総合的かつ計画的に推進するための基本的な考え方や取り組むべき方向性を示すものです。このたび、計画案がまとまりましたので、市民の皆さんからの意見を募集します。
- ▶**意見募集・閲覧期間** 2月1日(水)～3月3日(金)(土・日曜日を除く)
 - ▶**閲覧場所** 建築開発課、市政情報コーナー、南河原支所 ※市ホームページからも閲覧可。
 - ▶**提出方法** 住所、氏名、電話番号を明記(様式自由)の上、持参、郵送、FAX、Eメールのいずれかの方法で提出してください。【持参・郵送】〒361-0052 行田市本丸2-20 建築開発課【FAX】553-4544【Eメール】k-kaihatu@city.gyoda.lg.jp
 - ▶**意見の公表** 提出された意見は、個人を特定できないように編集し、概要を公表します。また、意見に基づいて修正した場合は、その内容を公表します。なお、個別の回答は行いません。
 - ▶**その他** 電話や口頭での受け付けはしません。詳細は市ホームページをご覧ください。
 - ▶**問い合わせ** 同課建築指導担当☎550-1551

平成29年度の加入受付がはじまります

万一の事故に備えて 交通災害共済に加入しましょう



平成28年中は、市内で2,000件を超える交通事故が起っています。交通事故を無くすためには、ルールを守るだけでなく、気持ちのゆとりと譲り合いの精神を持つことが大切です。しかし、ルールを守っていても、どんなに注意をしても交通事故に遭うことがあります。そこで、万一の事故に備えて加入していただきたいのが交通災害共済制度です。

この制度は、市民の皆さんが会費を出し合って、加入された方が交通事故に遭ったとき、お互いに助け合う制度です。皆さんも家族全員で交通災害共済に加入しましょう。

▶加入資格

本市の住民基本台帳に記録されている方

▶共済期間

4月1日から平成30年3月31日までの1年間
※共済期間内に市外へ転出した場合効力を失います。

▶費用

1人年額500円
※10月以降に中途加入される場合は250円

▶加入方法

防災安全課では年間を通して随時受け付けています。
2月1日(水)から3月31日(金)までは、自治会を通して加入の取りまとめを行います。
※各自治会で指定した期間に限ります。

▶対象となる交通事故

日本国内の道路上において発生した次の人身事故に限る

- 車両（自動車、原動機付自転車、自転車、バスなど）に乗車中の衝突、転落、接触などによる事故
- 歩行中に発生した運行中の車両との衝突、接触などによる事故

▶対象とならない交通事故

- 故意による場合
- 無免許運転または飲酒運転
- 地震、噴火、津波など天災に直接起因した交通事故
- 歩行中の単独転倒による事故
- 停車中の自動車、自転車などから降りる際の転倒事故
- 道路でない場所での事故（個人の宅地または企業・工場敷地内、農耕作業中の場合など）

▶見舞金

種類	区分	見舞金額	
死亡見舞金	事故発生の日の翌日から起算して180日以内に死亡したとき	1,200,000円	
後遺障害見舞金	事故発生の日の翌日から起算して2年以内に身体障害者福祉法施行規則の規定による障害等級2級以上の障害と認定されたとき	700,000円	
	事故発生の日の翌日から起算して2年以内に身体障害者福祉法施行規則の規定による障害等級5級以上3級以下の障害と認定されたとき	600,000円	
医療見舞金	実治療日数	180日以上	140,000円
		150日以上180日未満	110,000円
		120日以上150日未満	90,000円
		90日以上120日未満	70,000円
		60日以上90日未満	55,000円
		30日以上60日未満	40,000円
		7日以上30日未満	30,000円
		7日未満	14,000円

- 実治療日数は、入院日数と通院日数を加えたものです。
- 原則として交通事故証明書または救急車出動証明書（公的証明書※コピー可）、医師の診断書または自賠責保険の診断書および診療報酬明細書（コピー可）が必要になります。交通事故証明書または救急車出動証明書がない場合は、実治療日数が7日以上でも支払われる見舞金の上限が20,000円となります。

▶見舞金の請求期限

- 死亡・医療見舞金
事故発生の日の翌日から2年以内です。請求期限を経過したときは無効となります。
- 後遺障害見舞金
事故発生の日の翌日から3年以内です。請求期限を経過したときは無効となります。

▶問い合わせ

同課交通担当(内線284)

行田市民大学で充実したキャンパスライフを

平成29年度の新入生を募集します

行田市民大学では、「市民による手作りの学校」を目指して、市民ボランティアによる趣向を凝らしたカリキュラムを企画しています。このたび、第9期目となる新入生を募集していますので、ぜひご応募ください。



- ▶修学期間 5月11日(木)から2年間、毎月2回程度(原則第2・第4木曜日)
- ▶時間 午後1時30分～3時30分
- ▶場所 ものづくり大学(予定)他
- ▶応募資格 原則として市内在住・在勤で16歳以上の方
- ▶募集人数 50人(定員を超えた場合は抽選)
- ▶学費 年間15,000円(入学決定後、指定する日までに振り込み)
※視察ツアーは別途負担あり
- ▶応募方法 市役所、教育委員会、各公民館などに用意してある所定の申込用紙(市ホームページからダウンロード可)に必要事項を記入の上、3月15日(水)までに持参、郵送、FAXのいずれかの方法で申し込みください。
【持参・郵送】〒361-0052 行田市本丸2-20 行田市教育委員会ひとつくり支援課
【FAX】556-0770
- ▶入学決定 3月31日(金)までに応募者へ結果を通知します。

講座予定

年	日	内容	年	日	内容
平成29年	5月11日	入学式、記念講演、オリエンテーション	平成29年	10月19日	行田市の原点 日本一の足袋産業
	5月18日	郷土の地形と成り立ち		10月28日・29日	ものづくり大学学園祭
	5月25日	「のぼうの城」を検証する…成田一族の盛衰		11月9日	自然の大切さ みんなで学ぼう
	6月8日	グループ研究のテーマと進め方		11月30日	第2回視察ツアー
	6月22日	第1回視察ツアー		12月14日	埼玉古墳群の時代
	6月29日	古墳(さきたま史跡の博物館)	12月21日	音楽鑑賞 クリスマスコンサート	
	7月13日	戦国時代の女性像	平成30年	1月11日	郷土の文化を学ぶ
	7月27日	忍城主はなぜ徳川幕府に重用されたのか		1月25日	健康長寿の食生活
	9月14日	老後の暮らし		2月8日	スポーツ全体
	9月28日	元気の出る街づくり		2月22日	グループ研究成果発表
	10月12日	郷土の歴史を学ぶ(幕末から明治初期)		3月8日	修了式

※日程および講座は、変更となる場合があります。
※講座の他に自主グループ研究活動があります。

▶問い合わせ 同課生涯学習担当 ☎ 556-8319

あなたも行田市の登録手話通訳者になりませんか

聴覚・音声または言語機能に障害のある方に対して、手話通訳を行う登録通訳者の選考試験を実施します。登録後は、派遣申請に基づき手話通訳業務を依頼します。

- ▶日時 3月12日(日)午前9時30分～正午
- ▶場所 総合福祉会館「やすらぎの里」
- ▶受験資格 平成29年4月1日現在、満20歳以上の方(学生を除く)
- ▶試験方法など

試験方法	内容	時間
筆記	①行田市の福祉に関する知識 ②聴覚障害者に関する知識 ③障害者福祉に関する知識 ④手話通訳に関する知識	50分
聞き取り	手話表現 2問	5分
読み取り	□ 述 2問	5分
面接	-	10分



※手話通訳士の資格を有する方、全国統一試験または埼玉県の手話通訳者認定試験に合格している方は面接のみ行います。

- ▶申し込み 2月1日(水)から福祉課および行田市社会福祉協議会で配布する所定の申込用紙に必要事項を記入し、選考試験実施要領を参照の上、2月28日(火)(必着)までに提出してください。※選考試験実施要領と申込書の配布は、土・日曜日、祝日を除きます。
- ▶問い合わせ 福祉課障害福祉担当(内線266)または同協議会 ☎557-5400



介護者教室を開催します

高齢者が在宅で安心して暮らしているよう、介護の知識やこつなどを学ぶ教室を開催します。

- ▼日時 2月28日(火)午後2時～3時30分
- ▼場所 中央公民館第1学習室(みらい1内)
- ▼内容 「ストレスって何!?」ストレスの仕組みを知って、うまく付き合おう」

介護によるストレスを放っておくと、介護疲れや体の不調につながりかねません。ストレスとうまく付き合っていくために、その仕組みと対処法について学びます。

- ▼対象 現に介護している方、介護について関心のある方
- ▼定員 30人(要申し込み)
- ▼費用 無料
- ▼持ち物 筆記用具
- ▼申し込み・問い合わせ 地域包括支援センター緑風苑 ☎557-3611
- ▼この記事に関する問い合わせ 高齢者福祉課地域包括ケア担当(内線278)



行田市ファミリー・サポート・センターの協力会員を募集します

ファミリー・サポート・センターは、育児の援助を行いたい方(協力会員)と育児の援助を受けたい方(依頼会員)との間の相互援助活動を支援しており、このたび協力会員を募集します。子育て経験から得た育児のノウハウを活用したい方、子どもが好きな方、自身の余暇時間を活用したボランティア活動に興味のある方などは、ぜひご応募ください。

- ▶主な活動内容
 - ・保育園、幼稚園、小学校および学童保育室などへの送迎
 - ・保育園、幼稚園、小学校の下校後・降園後における一時預かり
 - ・冠婚葬祭など突発的な外出時の一時預かり
- ▶応募条件
 - ・市内在住の方 ※送迎を行う方は、普通運転免許証および自家用車を所有していること

- ▶謝礼
 - 協力会員には、有償ボランティアとして謝礼を支払います。
 - 【月～金曜日(祝日を除く)の午前7時～午後7時】30分当たり350円
 - 【上記以外】30分当たり400円
 - 【連絡手数料】1回の活動につき100円
- ▶その他
 - ・協力会員として活動していただくために必要な会員登録は、行田市社会福祉協議会または子ども未来課で行います。
 - ・協力会員と依頼会員との利用調整は同協議会が行います。
- ▶問い合わせ 同課子ども未来担当(内線262)または同協議会 ☎550-7620

うきしろのまち子どもの家事業(学童保育室)で夏休み期間中児童の預かり保育を実施します

- ▶対象 保護者の就労などにより常時留守宅の小学1～6年生で、夏休み期間中のみ預かりを希望する児童
- ▶場所 コミュニティセンターみずしろ2階大広間(予定)
- ▶入室期間 7月21日(金)～8月31日(休)の月～金曜日午前7時30分～午後7時
- ▶利用料 7,000円(期間中一律)
※生活保護世帯は無料です。
※おやつ代が別途掛かります。
- ▶定員 45人
- ▶申請方法 2月1日(水)～28日(火)に子ども未来課で配布している申込書に必要書類を添付の上、申し込みください。
- ▶注意
 - ・次の利用基準に該当する方が申し込みできませんが、保育の必要性の高い方からの入室となります。

利用基準

- ①勤務終了時間が概ね正午より遅いこと
- ②勤務日数が月平均15日以上であること
- ③保育が可能な同居(同敷地内)の親族がいないこと
- ④自宅における保育が難しいこと(自営業、家族の病気や介護など)

- ・プールなどの学校行事に参加する場合は、保護者による対応をお願いします(市では送迎を行いません)。
- ・平成29年4月からの学童保育室の入室が決定している方も申し込みは可能です。
- ▶問い合わせ 同課子ども未来担当(内線262)

学童保育室に勤務する放課後児童支援員・補助員を募集します

- ▶放課後児童支援員
 - ▶雇用開始 4月1日(土)※6カ月ごとに更新あり
 - ▶勤務時間
 - 【学校授業日】午前11時45分～午後7時
 - 【学校休業日】午前7時30分～午後7時(シフト制による)
 - ※月に1日程度、土曜日勤務あり
 - ※休日は日曜日、祝日、年末年始、夏期休暇
 - ▶内容 市内学童保育室における児童の保育業務
 - ▶募集要件 59歳までの方で保育士、教諭(幼稚園・小学校・中学校)などの免許をお持ちの方
 - ▶募集人員 6人
 - ▶月給 143,000円(賞与あり・年2回、3カ月)
 - ▶申し込み 事前に電話連絡の上、2月20日(月)までに行田市社会福祉協議会へ履歴書(写真貼付)を持参してください。

- ▶補助員
 - ▶勤務時間
 - 【学校授業日】放課後～午後7時(勤務日は学童保育室により異なる)
 - 【学校休業日】午前7時30分～午後7時(シフト制による6時間程度の勤務)
 - ※休日は土・日曜日、祝日、年末年始
 - ▶内容 市内学童保育室における児童の保育、放課後児童支援員の補助
 - ▶募集要件 59歳までの方で保育士、教諭(幼稚園・小学校・中学校)などの免許をお持ちの方または子育て経験者
 - ▶募集人員 9人
 - ▶時給 920円
 - ▶申し込み 電話連絡の上、3月10日(金)までに行田市社会福祉協議会へ履歴書(写真貼付)を持参してください。
 - ▶問い合わせ 行田市社会福祉協議会 ☎557-5400

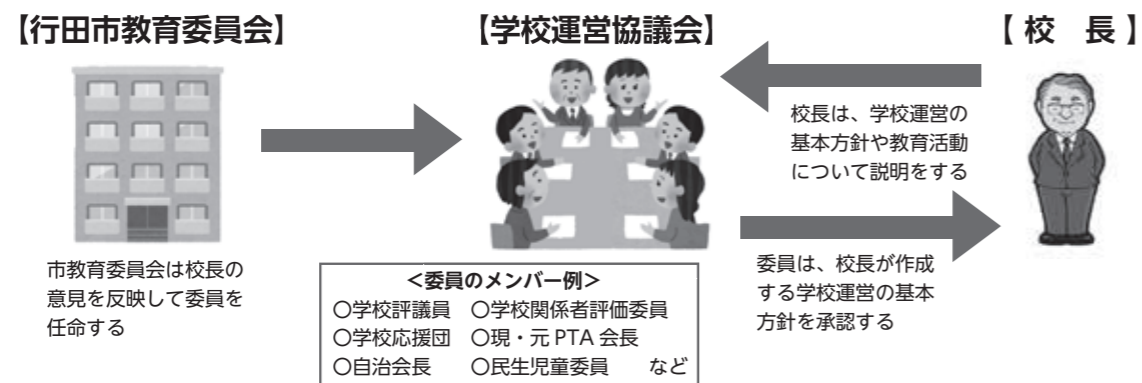
コミュニティ・スクールの実施に向けて 学校と地域・保護者の皆さんがこれまで以上に近づきます

コミュニティ・スクールとは「学校運営協議会」(地域住民・保護者などの中から行田市教育委員会が任命する委員で構成する15人程度の組織)を設置している学校を指します。

これからの学校は、子供たちや学校が抱える課題の解決や未来を担う子供たちの健やかな成長のために、地域・保護者の皆さんとお互いの情報や課題を共有し、「これからの時代を生きる子供たちのために」という共通の目標・ビジョンを持って日々の教育活動を進めていく必要があります。

コミュニティ・スクールが実施されると、学校運営協議会の委員が、校長が作成する学校運営の基本方針を承認したり意見を述べたりすることができるようになり、多方面からの理解・協力を得た風通しのよい学校運営が可能となります。

行田市教育委員会では平成31年度を目途に全ての小・中学校でコミュニティ・スクールの実施を考えています。市民の皆さんのご支援・ご協力をお願いします。



▶問い合わせ 学校教育課学校教育改革・指導担当(内線5304)、教育総務課総務担当(内線5306)

2月は省エネルギー月間です

私たちの豊かな暮らしは、エネルギーの消費によって成り立っています。日常生活に欠かすことのできない電気、ガス、水道はもちろん、現代社会の土台になっている運輸、通信なども全てエネルギーを利用しています。しかし、エネルギーの大量消費は、地球温暖化の原因となる二酸化炭素などの温室効果ガス排出量の増加につながります。

特に、冬の期間は暖房などによるエネルギーの消費量が増えることから、国では毎年2月を「省エネルギー月間」と定め、省エネルギーの推進を呼びかけています。このまちで暮らす私たちも、毎日の生活を少しだけ見直して、みんなで「行田エコタウン」を創っていきましょう。

今日からできる冬の省エネ行動

- 重ね着をして、暖房の温度を下げたり、利用時間を減らしたりしましょう。
- 使わない家電製品は、コンセントからプラグを抜くか主電源を切りましょう。
- 部屋を出るときは、明かりを消しましょう。
- 風呂はさめないうちに、家族で続けて入りましょう。
- シャワーは流しっぱなしにせず、小まめに止めましょう。

▶問い合わせ 環境課環境政策担当 ☎556-9530

男性料理教室

- ▶日 時 2月25日(土)午前10時～午後1時
- ▶場 所 VIVAぎょうだ調理室
- ▶内 容 簡単に栄養バランスも良い料理(柔らか豆腐のハンバーグ、白菜とりんごのサラダ、きのこスープ、ショコラプリン、白ご飯)を作ります。
- ▶講 師 行田市食生活改善推進員
- ▶対 象 市内在住・在勤の男性
- ▶定 員 25人(先着順)
- ▶参加費 1人500円
- ▶持ち物 エプロン、スリッパ、三角巾またはバンダナ
- ▶申し込み 2月7日(火)～21日(火)に直接または電話でVIVAぎょうだ(月曜日は休館)
※ひととき保育(2歳以上の未就学児)の申し込みは2月17日(金)まで
- ▶問い合わせ VIVAぎょうだ ☎556-9301

行田市観光サポーターを募集します

作家 池井戸 潤氏の小説「陸王」の大ヒットや、同小説のドラマ化が決定したことを機に本市は「足袋のまち行田」として再び脚光を浴びています。このたび、市の観光資源などを市内外にPRし、市のイメージアップや観光振興を図るとともに、観光客の誘致や行田ファンの拡大など、地域活性化を推進することを目的に「行田市観光サポーター」を募集します。

- ▶委嘱期間 委嘱の日から2年間
- ▶活動内容 ①市の提供する観光パンフレットの配布やSNSによる情報発信など、さまざまな機会を捉えて市の魅力を積極的にPRする
②市の主催するイベントや祭典への協力
③その他本市の観光振興に関することへの協力
- ▶応募資格 本市に愛着を持ち、行田の良さや情報を広く発信していただける方
- ▶その他 報酬はありません。
- ▶応募方法 商工観光課、行田市観光案内所、行田市バスターミナル観光案内所、ぶらっとぎょうだで配布している応募用紙に必要事項を記入の上、持参、郵送、FAXのいずれかの方法で同課【持参・郵送】〒361-8601 行田市本丸2-5 行田市商工観光課観光担当【FAX】553-5063
- ▶問い合わせ 同課観光担当(内線389)

行田観光ボランティア会が「平成28年度埼玉県おもてなし大賞」奨励賞を受賞



上田県知事と受賞者の皆さん

12月21日、知事公館で平成28年度埼玉県おもてなし大賞表彰式が行われ、日頃から来訪者へのおもてなし観光ガイドを行う行田観光ボランティア会が「平成28年度埼玉県おもてなし大賞」奨励賞を受賞しました。

埼玉県が、観光客らに対して心のこもったおもてなしをしている企業・団体、個人を表彰する埼玉県おもてなし大賞。今回、同会は18年に及ぶ活動期間と「要請がなくても自ら観光地に常駐し、お客様に声掛けをする」という新しいガイド体制で取り組んだことが高く評価されました。また、同会の活動は県内の他ボランティア団体の質を上げるなど、良い影響を与えているとのこと。

これからも行田観光ボランティア会はさらに磨きをかけた「おもてなし」で行田を訪れる観光客の皆さんをお迎えすることが期待されます。

▶問い合わせ 商工観光課観光担当(内線389)

認知症サポーター養成講座を受講してみませんか

- ▶日 時 3月15日(水)午後1時30分～3時
- ▶場 所 ウエルカフェ(ウエルシア佐間店内)(佐間1-5-5)
- ▶内 容 認知症についての基本的な知識、認知症の方への適切な対応方法、相談機関などについて学びます。
- ▶定 員 10人(先着順)
- ▶受講料 無料
- ▶持ち物 筆記用具
- ▶その他 受講終了後にはサポーターの証として、「オレンジリング」と「埼玉県認知症サポーター証」を差し上げます。
- ▶申し込み 3月14日(火)までに直接または電話で地域包括支援センター緑風苑 ☎557-3611
- ▶問い合わせ 高齢者福祉課地域包括ケア担当(内線278)

「金融のプロが教える【農】から始まる産業支援セミナー『種まく人々』を開催します

農・商・工業の事業者の方々向けに、新たな事業展開のきっかけにもらうためのセミナーを開催します。

- ▶日 時 2月16日(水)午後7時
- ▶場 所 VIVAぎょうだ学習室
- ▶内 容 武蔵野銀行担当者が地元金融機関としての「地産地消の取り組み」や支援体制について紹介します。
- ▶定 員 50人
- ▶参加費 無料
- ▶主 催 行田市農業青年会議所、武蔵野銀行、行田市
- ▶その他 事前申し込みは不要です。
- ▶問い合わせ 農政課農政担当(内線386)

コミュニティセンターみずしろの ロッカー利用申し込みを受け付けます

- ▶ **利用期間** 平成29年4月1日～平成30年3月31日(予定)の1年間
- ▶ **利用可能団体** 主に市内で活動している団体(代表者が市内在住であること)
- ▶ **ロッカーのサイズ** 高さ約81センチメートル、幅約52センチメートル、奥行約38センチメートル
- ▶ **利用料** 無料
- ▶ **その他**
 - 利用できる数は、各団体1つまでです。
 - 利用団体は、利用期間終了までに鍵を地域づくり支援課に返却してください。
 - 申し込み多数の場合は、締め切り後に公開抽選会を行い、利用団体を決定します。
- ▶ **申し込み** 2月1日(水)～28日(火)の午前9時～午後5時に直接または電話で団体名、代表者、住所、電話番号を同課に伝えてください(土・日曜日、祝日を除く)。※申込団体には、後日結果を通知します。
- ▶ **問い合わせ** 同課協働推進担当(内線253)

下水道事業受益者負担金をお支払いの方へ

- 第4期納期限 2月27日(月)**
 受益者負担金は、下水道供用開始となった時点で、使用の有無を問わず土地の面積に応じて賦課されます。この負担金の納付には便利な口座振替をご利用ください。また、期限内の納付が困難な場合は、納付相談をご利用ください。
 なお、負担金賦課区域内の土地で売買・相続などにより受益者の変更があった方は、下水道課までご連絡ください。
- ▶ **問い合わせ** 同課業務担当 ☎564-0303

今月の納税

国民健康保険税 8期
 介護保険料 8期
 後期高齢者医療保険料 8期

納期限 2月28日(火)
 市税の納付には、「安心！ 確実！ 便利！」な口座振替をご利用ください。

各種相談 (2月15日～3月14日)

相談	場所	期日	時間	問い合わせ
法律(予約制)	産業文化会館2階会議室	2月28日(火)、3月9日(水) ※予約はその月の1日から(土・日曜日、祝日の場合は翌日)	午前9時20分～正午	地域づくり支援課(内線252)
行政	産業文化会館2階会議室	2月20日(月)、3月6日(月)	午後1時30分～3時30分	
消費生活多重債務	市役所	毎週月～金曜日(祝日を除く)	午前9時30分～午後3時30分	消費生活センター(内線495)
結婚	VIVAぎょうだ	3月5日(日)	午前10時～正午	NPO法人行田結婚支援センター ☎090-2416-9692
相続、遺言、離婚、日常生活の困り事	VIVAぎょうだ	3月8日(水)※予約制	午後1時～5時(受け付けは午後4時まで)	埼玉県行政書士会埼玉支部 ☎554-2702
夫婦関係・DVなど(予約制)	VIVAぎょうだ	毎週木・土曜日 ※各土曜日は市内在住の方を対象に電話相談も受け付けます。	午後1時～4時(電話相談は午後1時～2時)	VIVAぎょうだ ☎556-9301
内職	市役所	毎週月～金曜日(祝日を除く)	午前9時～午後5時	商工観光課(内線383)
人権	南河原隣保館	3月8日(水)	午後1時30分～3時30分	人権推進課(内線221)
税務(予約制)	関東信越税理士会行田支部(市役所前)	毎週水曜日(祝日を除く) ※予約受け付けは毎週月・水・金曜日(祝日を除く)の午前10時30分～午後3時30分	午後1時～4時	関東信越税理士会行田支部 ☎554-1411
水道料金の休日納付	水道庁舎(前谷)	3月5日(日)	午前8時30分～正午	水道課 ☎553-0131
水道料金の夜間納付	水道庁舎(前谷)	2月21日(火)、3月7日(火)	午後5時15分～7時	

シルバー人材センターからのお知らせ

- 会員になって、生きがい・仲間を見つけませんか**
 「長年培った知識や技術を生かして地域に貢献したい」「健康維持のために体を動かしたい」などと思っている方はシルバー人材センターの会員になりませんか。
- ▶ **対象** 市内在住で、健康で働く意欲のある60歳以上の方
 - ▶ **入会説明会** 毎月第1・3木曜日午前10時から行田市シルバー人材センター



- その仕事、シルバー人材センターにお任せください**
 請負や派遣による就業を実施していますのでお気軽にご相談ください。
- ▶ **請負による就業例** 住宅用火災警報器の取り付け、植木の剪定、除草、農作業の手伝い、家事援助、空き家の見回り管理、地域活動などの代理参加、各種イベントの手伝い、ふすま・障子・網戸の張り替えなど
 - ▶ **派遣による就業例** 一般事務、各種施設の管理、工場の軽作業、学童保育支援員補助員など



▶ **問い合わせ** 同センター ☎556-5221

消防協力者に感謝状を贈呈しました



杉山消防長(左)から感謝状を贈られた河野直明さん(右)

12月13日に消防本部で消防協力者の表彰が行われ、河野直明さん(栄町)に杉山消防長から感謝状と記念品が贈られました。河野さんは11月16日午前7時ごろ忍川で流されていた女性を発見、通報するとともに近くにいた人と協力し、救出しました。低体温となった女性を適切に保護するなど、的確な判断と迅速な対応により人命が守られたことは賞賛に値するものであることから感謝状を贈ることとなりました。

▶ **問い合わせ** 消防本部総務課 ☎550-2119

川口信用金庫を行田市収納代理金融機関に指定します

市では、収納代理金融機関として川口信用金庫を新たに追加指定します。これにより、市税の他各種使用料や手数料などを同信用金庫窓口で納付することができます。

- ▶ **取扱開始日** 4月3日(月)
- ▶ **取扱店舗** 川口信用金庫本店・支店
- ▶ **最寄り店舗** 鴻巣支店(鴻巣市本町2-1-37) ☎541-3600
- ▶ **問い合わせ** 会計課審査担当(内線202)

不用品情報

市では、資源の有効利用とごみの減量化を図るため、不用品登録制度を実施しています。この制度は紹介制で、紹介後は個人間のやり取りとなります。また、登録品は無料で登録期間は3カ月です。
 なお、円滑な仲介事務を進めるため、不用品登録の際に写真の提供をお願いしています。写真を提供していただける方は、ご連絡ください。

さしあげます

- ▷ ポリタンク ▷ 池水槽 ▷ 机(書斎用) ▷ 加湿器 ▷ 学習机・学習机用椅子(木製) ▷ 額縁など ▷ 洗濯機 ▷ テーブル(木製・コタツ付き) ▷ ミシン(家庭用) ▷ 冷蔵庫

ゆずってください

- ▷ 液晶テレビ ▷ パソコン ▷ ミシン(家庭用・足踏み式) ▷ 石油ストーブ ▷ 車椅子 ▷ 大人用三輪車

▼ **問い合わせ** 環境課環境業務担当 ☎556-9530

地域医療ネットワークシンポジウム

地域医療の現状や医療連携の必要性などを伝えながら、地域医療を守るために一人一人がしなければならぬことや、医療連携の普及に必要なことなどを参加者の皆さんと一緒に考えます。ぜひ、ご参加ください。

日時 2月25日(土)午後1時30分開演(午後1時開場)
場所 蓮田市総合文化会館「ハストピア」(蓮田市関戸2343-2)

内容 【第1部 基調講演】
テーマ 医療連携の必要性について
講師 前島静顕さん(南埼玉郡市医師会会長)
【第2部 パネルディスカッション】
テーマ 「とねっと」を活用した医療連携について

定員 600人
参加費 無料
主催 埼玉利根保健医療圏医療連携推進協議会(愛称:とねっと)
共催 埼玉県
その他 事前の申し込みは不要です。
問い合わせ とねっと事務局 ☎0480-63-0003

おとなの健康

こころの相談(要申し込み)

日時 2月15日(木)
※時間は申し込みの際にお知らせします。
場所 保健センター
対象 いつも不安、夜眠れない、生活のリズムが乱れている、自分の性格や人間関係に悩んでいるなど、心に悩みのある方
その他 随時、電話での相談も受け付けます。

麻しん風しん予防接種(MR) 第2期の接種はお済みですか

平成22年4月2日～平成23年4月1日生まれの方で、麻しん風しん予防接種を接種していない方は、平成29年3月31日までに接種を済ませてください。それ以降は、任意接種扱いとなり、全額自己負担になります。お手元に予診票の無い方は、母子健康手帳を持参の上、保健センターへお越しください。



保健案内

保健センター
長野2-3-17
TEL:553-0053
FAX:555-2551



子どもの健康

乳幼児健診

健診名 1歳6カ月児健診、2歳児歯科健診、3歳児健診
その他 転入されたお子さんで、前住所地で受診していない方は保健センターにご連絡ください。

乳幼児相談(要申し込み)

日時 2月21日(火)午後2時～4時
対象 就学前のお子さん

離乳食教室(初期)(要申し込み)

日時 3月2日(木)午前10時30分～11時30分(午前10時15分から受け付け)
対象 4～5カ月のお子さんとその保護者

離乳食教室(後期)(要申し込み)

日時 3月3日(金)午前10時30分～11時30分(午前10時15分から受け付け)
対象 9～11カ月のお子さんとその保護者

※いずれも場所は保健センター

赤ちゃんクラス

4カ月児健診を受診する際に必要な受診票の配布、健診の受診方法、予防接種や育児に関する説明などを行います。

日時 2月28日(火)午前10時30分～11時30分(午前10時から受け付け)
場所 保健センター
対象 平成28年12月生まれのお子さんとその保護者

※対象者には通知します。
※平成29年1月1日生まれ以降のお子さんがある方は、昨年3月に世帯配布した「保健センターのお知らせ」をご覧ください。

その他 申し込みは不要です。

ママ・パパ教室

日時 3月9日(木)午後1時15分～4時(午後1時から受け付け)
場所 保健センター
内容 妊婦と赤ちゃんの歯の健康、沐浴、フリートーク
対象 妊婦とその家族
定員 16人(先着順)
注意 安定期に入った妊娠中・後期(16週～34週)の参加をお勧めします。
申し込み 3月2日(木)までに直接または電話で保健センター

休日急患診療

期日	医療機関名	期日	医療機関名
2月19日(日)	清幸会行田中央総合病院	3月5日(日)	清幸会行田中央総合病院
2月26日(日)	壮幸会行田総合病院	3月12日(日)	壮幸会行田総合病院

- ・診療科目……内科、小児科、外科
- ・診療時間……午前10時～午後5時
※医療機関が変更されることがありますので、事前に問い合わせください。
- ・清幸会行田中央総合病院 ☎553-2000
- ・壮幸会行田総合病院 ☎552-1111
- ◇夜間などの急病やけがで受診できる医療機関を知りたいとき
- ・行田市消防署 ☎550-2123
- ・埼玉県救急医療情報センター ☎048-824-4199
- ◇埼玉県小児救急電話相談「#8000」
- ・県内どこからでも「#8000」をプッシュすると相談窓口につながります(携帯電話可)。
- ・相談時間【月～土曜日】午後7時～翌日午前7時【日曜日、祝日】午前7時～翌日午前7時
- ◇埼玉県大人の救急電話相談「#7000」
- ・県内どこからでも「#7000」をプッシュし、音声ガイダンスに従ってボタン1を押すと相談窓口につながります(携帯電話可)。
- ・相談時間【月～土曜日】午後6時30分～10時30分【日曜日、祝日】午前9時～午後10時30分

在宅医療窓口

- ◇「病気があがる、足が不自由で通院できない」「寝たきりの家族がいて床ずれが心配」などの相談があるとき
- ・在宅医療支援センター ☎553-2060
- ・相談時間 午前9時～午後5時(土・日曜日、祝日、年末年始を除く)
- ◇「歯科医院への通院が困難」「訪問歯科診療を行っている歯科医院を知りたい」などの相談があるとき
- ・在宅歯科医療推進窓口 ☎080-1391-8020
- ・相談時間 午前10時～午後3時(正午～午後1時を除く)※土・日曜日、祝日、年末年始を除く

10カ月児相談

日時 2月21日(火)午前9時30分～正午
受付時間 午前9時30分～10時
場所 保健センター
内容 身体測定、幼児期を迎える準備の話(予防接種、栄養、育児、歯科保健など)、赤ちゃんとの遊びの紹介、運動発達・食事・育児などの相談
対象 平成28年4月生まれのお子さんとその保護者
※対象者には通知します。
その他 申し込みは不要です。

HIVの検査を受けましょう

無料のHIV即日検査を実施します

検査は採血のみで、約1時間で結果が分かります。この即日検査により、確認検査が必要となった場合は、結果報告に約1週間かかります。感染の可能性がある日から3カ月以上経過してからの検査をお勧めします。

日時 2月26日(日)午後0時30分～3時
場所 WithYouさいたま(埼玉県男女共同参画推進センター)セミナー室(さいたま市中央区新都心2-2)
定員 100人(先着順)
費用 無料
その他 予約は不要です。検査は匿名で行われます。
問い合わせ 公益財団法人埼玉県健康づくり事業団 ☎0493-81-6729

HIVとエイズとは

HIVとは感染すると免疫を低下させるウイルスのことです。治療をしないしていると、だんだん免疫が低下し、健康な人ではかからないような病気にかかってしまい、この状態をエイズといいます。

平成27年、新たにエイズを発症した患者は、全国では428人、県内においては13人でした。HIVは主に感染予防しない性行為で感染します。通常の日常生活では感染しません。

検査を受けて早期発見を

現在、HIVの感染を早期に発見して早期に治療を始めれば、エイズの発症を抑えて、普段と変わらない生活を送ることができます。しかし、HIV感染は、エイズ発症前には症状がないため検査をしないとわかりません。血液検査を受けて早期にHIV感染を発見しましょう。

高齢者の肺炎球菌予防接種の 期限は3月31日(金)までです

対象 次の①または②に該当する方

①	年齢	生年月日
	65歳	昭和26年4月2日～昭和27年4月1日
	70歳	昭和21年4月2日～昭和22年4月1日
	75歳	昭和16年4月2日～昭和17年4月1日
	80歳	昭和11年4月2日～昭和12年4月1日
	85歳	昭和6年4月2日～昭和7年4月1日
	90歳	大正15年4月2日～昭和2年4月1日
	95歳	大正10年4月2日～大正11年4月1日
	100歳	大正5年4月2日～大正6年4月1日

※自己負担額4,000円で接種できるのは平成28年度のみ、生涯1回です。この機会を逃すと、定期接種として受けることはできません。

② 60歳以上65歳未満(接種日現在)で、心臓、腎臓または呼吸器に重度の障害(身体障害者手帳1級程度)のある方、ヒト免疫不全により、免疫機能に障害のある方。

注意事項

- ・過去に高齢者肺炎球菌ワクチン「ニューモバックスNP(23価肺炎球菌炭膜ポリサッカライドワクチン)」を接種したことがある方は、対象外です。
- ・市外で接種を希望される場合は、事前に保健センターへ問い合わせください。

定例イベント※図書館で楽しいひとときを※

イベント名	日時	内容	対象	協力団体など	場所
ボランティアによるおはなし会	2月19日(日)午後2時	絵本や紙芝居など	幼児・小学生	おしゃべりインコの会	図書館 おはなしの へや
	2月25日(土)午前11時			おはなしタンパリン	
	3月4日(土)午後2時			おはなしの会	
	3月11日(土)午後2時			おはなしポケット	
とことこおはなし会	2月15日(水)、3月8日(水) 午前10時30分～11時 ※とことこタイムで実施	絵本、手遊び、パネルシアターなど	0歳～3歳児ぐらい	図書館職員が実施	
てくてくおはなし会	3月5日(日) 午前11時～11時30分	絵本や紙芝居など	4歳児ぐらい～小学生		
英語のおはなし会	3月12日(日)午前11時	英語の歌遊びや絵本の読み聞かせ	幼児・小学生	ハートイングリッシュスクール	
子ども映画会	2月18日(土)午後2時	トムとジェリー～楽しいボーリング～		図書館職員が実施	

図書館シネマ倶楽部	2月26日(日)午後1時30分	命のピザ (邦画:115分) 出演:加藤剛、秋吉久美子、紺野美沙子 他	大人を対象としていますが、どなたでも鑑賞できます	図書館職員が実施	中央公民館 2階映像ホール
-----------	-----------------	--	--------------------------	----------	------------------

ブックスタート	2月15日(水)・22日(水) 午前10時～正午	絵本の読み聞かせ、育児のアドバイス、絵本セットの手渡し	平成28年8月1日～10月31日生まれのお子さんとその保護者 ※母子健康手帳を必ずお持ちください。	NPO法人 子育てネット行田	図書館 ミーティングルーム
---------	-----------------------------	-----------------------------	--	-------------------	------------------

身体測定&からだバランス体験講座 ～フィットネスクラブ連携トライアル事業～

フィットネスクラブの協力により開催される「身体測定&からだバランス体験講座」です。体組成計を使って体年齢などを測定したり、健康づくりや体力づくりのためのポイントを教わったりすることができます。

フィットネスクラブ一覧

施設名	所在地	電話
スポーツフィールド行田	緑町8-8	☎553-1666
コナミスポーツクラブ行田	持田1-4-56	☎555-3541
日時	<全3日間> 1日目は次の①～④の中から希望する日を選択 2日目および3日目は同月中の希望する日に参加できます。 ①3月1日(水)午前10時10分～11時 ②3月2日(木)午後1時30分～2時20分 ③3月4日(土)午後7時～7時50分 ④3月5日(日)午後1時30分～2時20分	
講座内容	次の①～③の講座の中から希望する講座を選択 講座①: 2月21日(火) 午後7時～9時 講座②: 2月23日(木) 午後1時15分～2時30分 講座③: 2月28日(火) 午前11時～午後1時 講座① [ボディバランス45] ・筋力、柔軟性、バランスの向上 講座② [ステップアップ・ロコモフィット] (シニア向け) ・下半身筋力やバランストレーニング 講座③ [ボディバランス30] ・筋力、柔軟性、バランスの向上	
定員	1日目: からだ測定、施設利用 2日目および3日目: 軽運動、筋力アップ、ヨガ、プールなど 20人(先着順) ※①～④各5人まで	
申し込み	15人(先着順) ※各講座5人まで 2月15日(水)午前10時から直接または電話で当該施設 2月16日(木)午前10時から直接または電話で当該施設	

- ▶対象 市内在住の20歳以上の方で、医師から運動制限を受けていない方
- ▶参加費 無料
- ▶その他 一施設につき一度のみの利用となります。講座内容は、参加者や施設などの状況により変更の場合あり。
- ▶問い合わせ 当該施設または保健センター ☎553-0053

図書館だより

開館時間 午前9時30分～午後7時
 休館日 2月6日(月)・13日(月)・20日(月)・27日(月)・28日(火)、3月6日(月)・13日(月)
 ※休館中の図書の返却はブックポストをご利用ください。

市立図書館 佐間3-24-7(「みらい」内) TEL:556-4227 FAX:555-3770

新着図書

- ・三鬼 三島屋変調百物語四之続 宮部みゆき/著
- ・簡単だから毎日作れるシニアごはん 野崎洋光/教える人 ヨネスケ/教わる人
- ・医者に「歩きなさい」と言われたら読む本 メタボ・糖尿病・高血圧を改善! 青山剛/著 山本雅人/監修
- ・おとのさま、スキーにいく 中川ひろたか/作 田中六大/絵
- ・トイレの自由研究3 尿尿・下水研究会/監修 こどもくらぶ/編
- ・こけしがこけて 新井洋行/作・絵



新着DVD・新着CD

- <DVD>
- ・サマーウォーズ
 - ・ヒッチコック
 - ・エデンの東
- <CD>
- ・TIMELESS WORLD (コブクロ)
 - ・THE STIL LIFE (平井堅)
 - ・ザ・ウェイ・ユー・ルック・トゥナイト～スウィート・パラード・フォー・ハワイ～ (レネ・パウロ)

16ミリフィルム早春の映写会

16ミリフィルムならではの味わいのある昭和の記録映像やアニメーションを楽しみませんか。

- ▶日時 3月5日(日)午後2時
- ▶場所 中央公民館2階映像ホール(「みらい」内)
- ▶内容 「呉須三味一近藤悠三の世界」「がんばれスイミー」
- ▶定員 80人(先着順)

特集コーナーについて

児童書と一般書で、季節や時事に関する資料や、利用者や司書からのおすすめ本を集めた特集コーナーを設けています。

テーマは定期的に変更していますので、ぜひ手にとってご覧ください。



春の音色の朗読会

毎年秋に開催し、今年も大好評だった「大人のための朗読会」の春の特別版を開催します。「夜の音色のおはなし会」で好評だったフルートの演奏を行います。あたたかいお茶とともに楽しみください。

- ▶日時 3月14日(火)午後2時～3時
- ▶場所 図書館ミーティングルーム
- ▶内容 『百鬼園随筆』より 内田百閒/著 『とりつくしま』東直子/著 『羊と鋼の森』宮下奈都/著
- ▶定員 30人
- ▶協力 行田朗読の会
- ▶その他 申し込みは不要です。

特別おはなし会～素話の世界～

今年度4回行った「読み聞かせボランティア養成講座」の受講生が行う、素話によるおはなし会です。素話とは、語り部が何も見ないで話をする事です。いつもの絵本を使ったおはなし会とは違った、素話の世界をお楽しみください。

- ▶日時 2月26日(日)午前11時
- ▶場所 図書館児童コーナー「おはなしの部屋」
- ▶その他 申し込みは不要です。

人形劇やります! ～3歳からのらくご人形劇～

絵本でもおなじみの古典落語を楽しい人形劇でお楽しみください。どたばた漫才「ねずみのチュー吉」も併せて上演します。

- ▶日時 2月26日(日) 午前11時～正午ごろ(午前10時30分開場)
- ▶場所 中央公民館レクリエーション室
- ▶演目 3歳からの落語人形劇「たのきゅう」併演作品『腹話術「ねずみのチュー吉」』
- ▶出演 劇団にんぎょう畑
- ▶対象 小学校低学年以下の児童とその保護者
- ▶定員 80人程度(先着順)
- ▶参加費 無料
- ▶申し込み 2月19日(日)までに直接または電話で同館





平成29年行田市消防出初式

火 災予防意識を高めるために

1月7日、市民の火災予防意識の向上を目的に、平成29年行田市消防出初式が行われました。
市役所前では、緊張感が漂う中、工藤市長が整列した消防団員らの服装規律点検を行いました。また、水城公園に場所を移して一斉放水訓練が実施され、ポンプ車とはしご車が美しいアーチを描いて放水する中、県の防災ヘリコプター「あらかわ」が登場。空中から勢いよく水が放たれると、詰め掛けた観衆から大きな歓声が沸き起こりました。



テイ・エス テック株式会社に感謝状を贈呈

地 域貢献活動に感謝状を贈呈

1月11日、市役所応接室で工藤市長からテイ・エス テック株式会社(受領は埼玉工場工場長 須崎康清さん(中央)、同工場管理部総務課主幹 川上新一さん(左))に感謝状が贈られました。
同社は平成25年に市内工場稼働後、スポーツ振興、環境保全、交通安全対策をはじめ、多方面にわたる地域貢献活動に取り組んできました。市内小学3年生を対象にした工場見学の受け入れや市内小中学生を対象にしたバスケットボール大会の開催などの地域貢献活動は、本市の目指すまちづくりの理念「ひとの元気・地域の元気・まちの元気」に一致するもので、他企業の模範となることから感謝の意を表し、感謝状を贈呈しました。

行田ゆく年くる

新 しい年に願いを込めて

12月31日、忍城址鐘楼付近で大みそか恒例のイベント「行田ゆく年くる年」が開催されました。
鐘楼を突こうと、午後11時の開始時刻を前に大勢の人が長蛇の列を作りました。来場者は来るべき新年が良い一年になるように願いを込め、笑顔いっぱい鐘楼を突いていました。



タワーからみんなで見よう 初日の出

思 い思いに一年の始まりを祝う

1月1日、古代蓮会館で「タワーからみんなで見よう 初日の出」が行われました。
高さ50メートルの展望室から初日の出を見ようと、寒さの厳しい深夜から約200人が列を作りました。午前6時55分、太陽が雲の隙間から姿を見せると、来場者は記念写真を撮ったり、手を合わせて祈ったりと思いをこめて新しい一年の始まりを祝いました。また館内では、はずれ無しの抽選会が行われた他、おしるこコーヒーズが振る舞われ、早朝から賑わいを見せていました。



小麦粉と音楽で世界と繋がるクリスマス

料 理や音楽でお互いの理解を深める

12月23日、VIVAぎょうだで国際交流イベント「小麦粉と音楽で世界と繋がるクリスマス」が行われました。
国際交流イベントは、さまざまな国の方々と交流を深めることを目的に、毎年度開催しているもので、今回は17人が参加。小麦粉を使ったすいとんの鍋とバナナブレッドづくりに取り組み、一緒に作り上げた料理を食べながら会話を楽しみました。
他にもミニコンサートやプレゼント交換が行われ、参加者はクリスマスの楽しいひとときを通じて交流し、互いの理解を深めることができました。



行田軽トラ朝市

朝 市で充実したひとときを

1月15日、産業文化会館南側芝生広場で行田軽トラ朝市が行われました。
早朝から行田産の野菜や花、自家製パンなどが並び、厳しい寒さにも関わらず多くの人々が訪れました。今回は特別イベントとして地元の食材を使った行田古代米カレーの試食や犬の風船のプレゼント、ポイント5倍サービスを実施。来場者は季節の野菜や果物を購入したり、古代米カレーの味を堪能したりと充実した朝のひとときを過ごしていました。



第31回行田市少年少女将棋大会

盤 上の熱き戦い

1月14日、中央公民館で第31回行田市少年少女将棋大会が開催され、市内の小・中学生73人が参加しました。
真剣な面持ちで対戦相手の思考を読みながら一手一手を慎重に指し、盤上で熱い戦いを繰り広げた選手たち。対局を終えると互いに内容を振り返り、健闘をたたえ合うなど、他校の児童・生徒と将棋を通じて交流を図っていました。

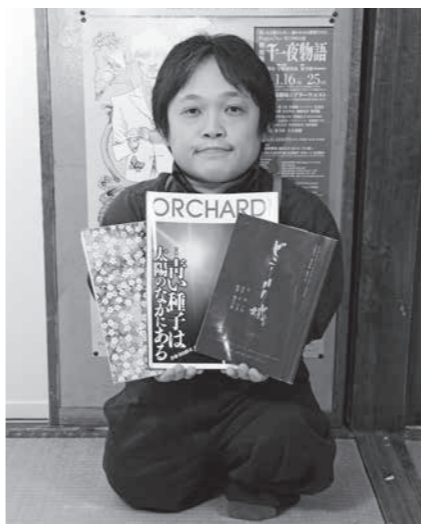




障害は個性 演技力が認められ舞台で活躍

野澤 健さん(荒木・32歳)

今月は、舞台表現グループbug-decays(バグデペイズ)に所属し、役者やパフォーマーとして活躍する野澤健さんを紹介します。生まれながらにして軟骨異常症を患っており、低身長というハンディキャップを抱えている野澤さん。普段はNPO法人C.I.L.U.こうせんでイベントなどの企画・運営や重度障害者の地域生活の改善などに携わっています。平成18年にbug-decaysの演出担当の宗方勝さんに声を掛けられ、舞台の世界に足を踏み入れました。それまで演技経験がなかったという野澤さんは「最初に誘われた時には戸惑いました。しかし、話を聞いていたうちにやってみたくまりました」と役者になったきっかけを振り返ります。ストーリーの無いbug-decaysの舞台では、身体の動きを中心とし



た表現を追求。その後も、平成23年に彩の国さいたま芸術劇場で行われた「ロミオとジュリエット」や、一昨年の蜷川幸雄さん演出の音楽劇「青い種子は太陽のなかにある」など他劇団の舞台にも出演し、演技の幅を広げてきました。そこでは、健常者の役者の方との身長差が生み出すコミカルな表現で観客を惹きつけています。「日常生活では、障害を持っていることで好奇の目や、かわいそうだという目で見られることがあります。しかし、舞台上で良い表現ができれば、障害は個性になり、一人の役者として感動を与えられるところにやりがいを感じています」とこやかに話します。3月9日から世田谷パブリックシアターで行われる夏木マリさん演出の舞台「不思議の国の白雪姫」への出演が決まっている野澤さん。4月2日にロームシアター京都サウスホール、さらに4月25日にはパリ・ルーヴル美術館で同舞台の公演が控えています。2月から始まる本格的な稽古を前に「しっかりと準備をして少しでも良い演技をお客さんにお見せしたいです」と意気込みます。「今までは背が低いことで目立っていましたが、それだけではなく演技力を伴った表現力の豊かな役者になりたいです」と目指す理想の俳優像について力強いまなざしで語ってくれました。

はじめまして



平成28年4月生まれのお子さんを募集します

○2月1日水~28日火に電話またはEメールで広報広聴課広報広聴担当(内線318) ※応募要領は市ホームページをご覧ください。 ○応募者多数の場合は、3月2日(休)午前11時から市役所203会議室で公開抽選を行います。



*** 平成28年2月生まれのおともだち ***



氏田 貴理哉ちゃん(佐藤) 平成28年2月5日生まれ 父・晶規さん 母・享子さん 「やさしい子に育ってね☆」



細田 彩愛ちゃん(藤原町) 平成28年2月27日生まれ 父・孝次さん 母・聡美さん 「笑顔いっぱい♡ わが家の天使」



鈴木 大和ちゃん(持田) 平成28年2月24日生まれ 父・孝文さん 母・ゆかりさん 「心の大きな男の子になってね」



柿沼 依美ちゃん(持田) 平成28年2月14日生まれ 父・淳さん 母・真緒さん 「我が家のアイドル えれんちゃん」



星野 颯佑ちゃん(持田) 平成28年2月26日生まれ 父・明彦さん 母・智恵さん 「やさしく元気に育ってね☆」

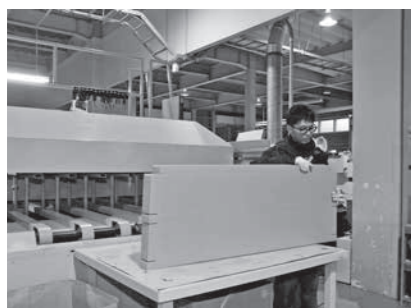


高木 創介ちゃん(持田) 平成28年2月26日生まれ 父・賢一さん 母・泉さん 「一緒に成長してこうね」

ぎょうだの会社を クロスアップ!!

株式会社甲世社

段ボールを中心に魅力を伝える梱包材を提案



会社プロフィール

代表取締役 大屋 一郎 【事業内容】紙容器製造業 【住所】長野5-15

昭和48年6月に創業した株式会社甲世社は段ボールを中心とした梱包材を製造している会社です。「あらゆる商品に対して対応する」ことをモットーとしている同社では、食品や建材、化粧品など幅広い商品を対象とした梱包材を提案。最適な製品を提供するために、企画・設計からパッケージデザイン、製作まで一貫して携わっています。お客様の商品を保護するだけでなく、その魅力を消費者に伝えられるようなデザイン性のある梱包材を、コストや組み立てやすさも考慮しながら試作を重ね、作り上げていくそうです。多くの梱包材を取り扱う同社が中でも得意としているのが、ワンタッチケースです。これは広げるだけで底が組み上がり箱状になる段ボールで、組み立てやすく、テープを貼る手間が要らないことから、作業現場や通販の商品発送などで需要が高まっているとのこと。代表取締役の大屋 一郎さんは「他社に先駆けていち早くワンタッチ

ケースの製造に取り組み、段ボールを打ち抜くプレス加工や自動で貼り合わせる機械の調整など蓄積された独自の技術を磨いてきました。機械スベックも小さなものから2メートル近いものまで柔軟に対応することができまます」と自信をのぞかせます。特にB式ワンタッチケースというテープを必要としない形式の段ボールケースの自動貼りの作業は同業他社からも依頼があるそうです。また、同社は今、リボードという素材に注目しています。「リボードは、高い強度をもった段ボールで、表面の加工がしやすい上に、軽くて組み立てやすいという特徴を持っています。まだ認知度は低いものの、この素材を使った簡易家具や展示用のディスプレイなど新たな商品開発も考えていきたいです」と大屋さんは今後の展望について話してくれました。創業以来、常に先のニーズを捉えてきた同社はこれからも段ボールの新しい可能性を提示してくるでしょう。

私の作品

- 俳句 桜町 長谷川さく 生きてこそ百一才や初御空 富士見町 おおば水杜 どっちみち死ぬば塵なりおお囃 矢場 高田みつ子 チェロを弾く指嬬やかに冬の園 持田 斉藤 協二 妻病みて心許なく年暮るる 荒木 藤田 栄之 初春や変らぬ暮し良しとする 向町 渡月 峯 左手はママに右手は千歳飴 佐間 蛭田 和夫 おさな児の粹なしくさや花苺 矢場 鈴木かづの とうに越す平均寿命冬柏 富士見町 鈴木スイ子 初雪の一夜に積もる信濃宿 須加 蓮 陽子 賀状手に青春の日々蘇る (三沢 一水 監修)

◎皆さんの作品を募集しています。 ◎俳句は毎月5日までに、はがき・封書で 広報広聴課へご応募ください。

※このコーナーで紹介する会社を募集しています。 特色ある業務を行っている会社の情報を広報広聴課広報広聴担当(内線318)までお寄せください。

でかけませんか となりまち

北彩タウン情報

加須市

トップクライマーが加須市に集結!

「クライミングのまち」加須市で、2日間にわたって「スポーツクライミング日本選手権大会(リード)」が開催されます。全国から選抜されたトップクライマーたちが繰り広げる白熱した戦い、最高のパフォーマンスをぜひご覧ください。

- ▶期 日 3月4日(土)男女予選
5日(日)男女準決勝・決勝
- ▶場 所 加須市民体育館
(加須市下三保590)
- ▶問い合わせ 同館 ☎0480-62-6123



羽生市

祝14周年ムジナもんお誕生日会を開催

14周年を迎えたムジナもん仲間たちを祝福するために、全国からおもだちキャラクターが遊びに来てくれます。

- ▶日 時 3月4日(土)午前10時～午後4時
- ▶場 所 イオンモール羽生(羽生市川崎2-281-3)
- ▶内 容 キャラクターのステージ、キャラクターグッズ販売など
- ▶キャラクター ムジナもん仲間たちなど40キャラ以上(予定)
- ▶問い合わせ キャラクター推進室(羽生市民プラザ) ☎560-3119

イベント

市役所ロビーコンサート

- ▼日時 3月13日(月)午後0時20分～0時50分
- ▼場所 市役所 玄関ロビー
- ▼出演 行田アンサンブル協会
- ▼趣 意 改革推進室(内線327)

総合公園の清掃活動

- ▼日時 2月25日(土)午前9時～10時(午前8時45分集合) ※雨天中止
- ▼集合場所 総合公園 管理棟前
- ▼内容 総合公園を愛着のある公園にするため、ボランティア清掃活動を行う。
- ▼持ち物 清掃用の手袋、ごみ袋
- ▼主催 行田のまちをゴシゴシ委員会
- ▼その他 清掃活動を中止する場合は前日に判断し、市ホームページや市公式ツイッターで周知する。
- ▼趣 意 同委員会事務局(管理課内・内線5704または都市計画課内・内線5603)

第9回子育てサロン春ですよ 皆おいで! 人形劇とパルーンマジックを楽しもう

- ▼日時 3月14日(火)午前10時30分～11時30分
- ▼場所 中央公民館レクリエーション室(二みらい内)
- ▼参加費 親子1組300円(子どもが1人増すごとに100円追加)
- ▼主催 NPO法人子育てネット行田
- ▼後援 行田市教育委員会、行田市子ども会育成連絡協議会
- ▼趣 意 同法人島田 ☎556-7765

藩校教育を現代に活かす朗唱まつり

- ▼日時 2月26日(日)午後2時30分開演
- ▼場所 「みらい」文化ホール
- ▼内容 荒井桂さん(郷学研修所、安岡正篤記念館副理事長兼所長)による講演「志を立てる」他、素読や朗唱の披露
- ▼定員 500人(先着順)
- ▼入場無料
- ▼主催 公益財団法人忍郷友会
- ▼後援 行田市教育委員会
- ▼趣 意 同会 ☎556-9000(火・金曜日の午前10時～午後4時)

募 集

陸王杯 第33回行田市鉄剣マラソン大会のボランティア

- ▼活動日時 4月2日(日)午前6時30分～正午
- ▼場所 古代蓮の里
- ▼内容 参加賞の配布や選手誘導など
- ▼対象 15歳以上の方
- ▼その他 3月下旬に事前説明会を実施
- ▼趣 意 2月22日(水)までに電話で鉄剣マラソン大会実行委員会事務局(スポーツ振興課内) ☎556-18336

自衛官等

自衛官候補生(男子)

- ▼試験日 受け付けの際にお知らせ
- ▼対象 18歳以上27歳未満の方
- ▼受付期間 随時
- ▼自衛官等採用の説明会
- ▼日時 2月19日(日)午前10時～正午、午後1時～3時
- ▼場所 防衛省自衛隊埼玉地方協力本部 熊谷地域事務所(熊谷市筑波3-90-1 国際ビル2階)
- ▼趣 意 同事務所 ☎522-4855

広告

広告

地域交流

「ついでに打ち合わせ」

- ▼日時 3月4日(土)午前9時30分～午後1時
- ▼場所 総合福祉会館「やすらぎの里」第1研修室および中庭
- ▼対象 60歳以上の方、小学生以下およびその保護者※祖父母と孫の組み合わせも可
- ▼定員 30人(先着順)
- ▼参加費 大人200円、小学生以下100円(当日徴収)
- ▼持ち物 エプロン、三角巾
- ▼趣 意 2月13日(月)から直接または電話で行田市社会福祉協議会 ☎557-5400

行田市ゼリーフライの大使 潮崎ひろの震災復興チャリティーライブ#69、70

- ▼日時 2月26日(日)、3月26日(日)
- ▶一回目 午前11時15分
- ▶二回目 午後2時15分 ※雨天中止
- ▼場所 忍城址
- ▼出演 潮崎ひろの、地元ミュージシャン
- ▼観覧無料
- ▼主催 (有)ポツパ企画
- ▼趣 意 同企画 ☎554-0789

こども☆夢☆未来 フェスティバル2017

- ▼日時 3月19日(日)午前10時～午後4時
- ▼場所 県民活動総合センター(北足立郡伊奈町内 宿台6-26)
- ▼内容 トークセッション「はじめまして、赤ちゃんどもに教えてもらおう子育て」、ユウ・サミイさんライブ、ワークショップ他
- ▼入場無料
- ▼主催 こども☆夢☆未来フェスティバル2017実行委員会
- ▼後援 埼玉県、埼玉県教育委員会、埼玉県市長会他
- ▼その他 保育あり(要予約)
- ▼趣 意 NPO法人彩の子 ネットワーク ☎048-770-15272

ひきこもり当事者の会

- ▼日時 2月19日(日)午後3時～5時
- ▼場所 コミュニティセンターみずしる
- ▼内容 ひきこもり当事者や経験者でテーマに沿って自由に語り合う
- ▼定員 10人程度
- ▼参加無料
- ▼主催 社会参加サポートネットプランチ
- ▼趣 意 2月17日(金)までに電話またはEメールで社会参加サポートネットプランチ ☎080-6570-1734 [Eメール] branch_ssn@outlook.com

- ▼日時 2月25日(土)午後3時～5時
- ▼場所 コミュニティセンターみずしる
- ▼内容 ひきこもり当事者や経験者でテーマに沿って自由に語り合う
- ▼定員 10人程度
- ▼参加無料
- ▼主催 社会参加サポートネットプランチ
- ▼趣 意 2月17日(金)までに電話またはEメールで社会参加サポートネットプランチ ☎080-6570-1734 [Eメール] branch_ssn@outlook.com

行田市体操連盟 平成29年度会員抽選会

行田市体操連盟では、平成29年度の会員を決定するための抽選会を実施します。

- ▶日時 2月25日(土)午前10時30分開始(午前10時から受け付け)
- ▶場所 行田グリーンアリーナ
- ▶募集内容

クラス	対象	定員	活動日時
親子クラス	3歳児とその母	25組	毎週水曜日 午後2時30分～3時30分
幼児クラス	新年中児	30人	毎週水曜日 午後3時30分～4時30分
1年生クラス	新小学1年生	10人	毎週水曜日 午後4時30分～5時30分
Kコース	新年長児	10人	毎週土曜日 午後2時～3時

- ▶費用 【入会金】2,500円
【月会費】2,500円
- ▶問い合わせ 同連盟事務局若林 ☎090-3091-1781

講座・講演会・教室

ものづくり大学 市民工房受講生

▼日時 2月21日(火)午後2時～4時
▼場所 商工センター403研修室
▼内容 山崎康弘さん(東京医科歯科大学歯学 嚙下専門歯科医師)による講演「お口の健康と摂食嚙下のお話し」
▼定員 70人
▼入場無料
▼その他 事前申し込み不要
▼問い合わせ 行田協立診療所 ☎556-4581

初級コース(1年制)

▼内容 木造建築に関わる設計、制作、修復などを基礎から学ぶ
▼定員 5人

日曜大工コース(1年制)

▼内容 趣味と実益のために木工の基礎技能を習得する
▼定員 15人

▼その他 受講料など詳細は、ものづくり大学にお問い合わせください。
▼申し込み 2月28日(火)までに同大学建設学科事務 ☎564-3849(月～金曜日、午前9時～午後5時)

市民公開講座

▼日時 2月21日(火)午後2時～4時
▼場所 商工センター403研修室
▼内容 山崎康弘さん(東京医科歯科大学歯学 嚙下専門歯科医師)による講演「お口の健康と摂食嚙下のお話し」
▼定員 70人
▼入場無料
▼その他 事前申し込み不要
▼問い合わせ 行田協立診療所 ☎556-4581

第60回成年後見・遺言・相続 無料セミナー・個別相談会

▼日時 2月25日(土)「セミナー」午後1時30分～3時
【個別相談会】午後3時15分～4時45分
▼場所 中央公民館第3学習室(「みらい」内)
▼内容 「不動産の相続と活用方法」「遺言の活用と作成について」
▼講師 木村義昭さん、飯島広樹さん(ともに行政書士)
▼受講無料
▼その他 個別相談を希望する方は事前予約が必要
▼問い合わせ 後見・遺言・相続手続き研究会(飯島行政書士事務所) ☎598-3915

その他

献血

▼日時 3月9日(木)午前9時30分～午後4時(午前11時45分～午後1時を除く)
▼場所 産業文化会館
▼内容 全血献血
▼主催 行田ライオンズクラブ
▼その他 献血カードを持参してください(お持ちの方)。
☎048-720-8009

(公財)行田市産業・文化・スポーツいきいき財団

…申し込み・問い合わせ…

産業文化会館 TEL.556-6371 FAX.556-6372	商工センター TEL.553-0510 FAX.553-2021	古代蓮会館 TEL.559-0770 FAX.559-0784	行田グリーンアリーナ TEL.553-3377 FAX.553-0487

<http://www.ikiiki-zaidan.or.jp/index.html>

古代蓮の里売店では、弁当・野菜・土産物・蓮に関連する雑誌

「悩み問題を考えるついで」

▼日時 2月18日(土)午後1時30分
▼場所 「みらい」文化ホール
▼内容 浅羽理恵さん(埼玉環境アドバイザー)による講演「ごみ問題と地球温暖化」
▼入場無料
▼主催 行田市衛生協力会連合会
▼申し込み 2月13日(月)までに電話またはFAXで同会事務局(環境課内) ☎556-9530(FAX) 553-0792

読み聞かせボランティア スキルアップ講座 映画「じんじん」上映会

▼日時 3月4日(土)午後1時30分～4時
▼場所 中央公民館2階映像ホール(「みらい」内)
▼定員 80人
▼受講無料
▼主催 公益財団法人忍郷友会
▼後援 行田市教育委員会
▼問い合わせ ☎556-9000(火・金曜日の午前10時～午後4時)

「秩父夜まつり」と「秩父・行田楽」を語る文化講演会

▼日時 3月5日(日)午後1時30分～3時
▼場所 佐間公民館

講演会 「変革の行動学」

▼日時 2月8日(木)午後4時～5時30分
▼場所 ベルヴィアイトピア(持田2792-1)
▼演題 「変革の行動学」
▼講師 大西啓義さん(アクティビティ) ジネス株式会社代表取締役社長
▼定員 30人(先着順)
▼参加無料
▼主催 行田武蔵野会
▼申し込み 住所、氏名、電話番号を明記の上、FAXで武蔵野銀行行田支店(FAX) 554-9680
▼問い合わせ ☎556-3195

行田水墨画クラブ 無料体験学習

▼日時 2月16日、3月2日の木曜日午後1時～3時
▼場所 コミュニティセンターみずしろ
▼持ち物 色紙2～3枚
▼申し込み 行田水墨画クラブ代表田村 ☎080-6772-7891

邦楽邦舞のついで

▼日時 3月12日(日)午後1時30分開演
▼場所 産業文化会館ホール
▼内容 日本舞踊と長唄演奏
▼演目 「都風流」「藤娘」「菊づくし」「近江のお兼」「舞妓」「汐汲」「松の緑」「里の子」他
▼出演 西川扇由女、東音会、越智義乃、伝統文化こども教室生徒他
▼入場無料

サロンコンサート

▼日時 2月25日(土)午後2時開演
▼場所 産業文化会館ホワイエ
▼内容 「アルルの女より」「メヌエット」「ユーモレスク」
▼歌の翼に「ます」私のお父様「花は咲く」
▼出演 新井理沙さん(ソプラノ)、小池穂波さん(フルート)
▼定員 100人(先着順)
▼入場無料
▼その他 チケットの配布はありません。直接会場へお越しください。

広告

広告

行田 歴史系譜 275

歴史を語るこの「いっぴん」
博物館の収蔵庫から

11

小川一真の少年時代の手紙

個人蔵

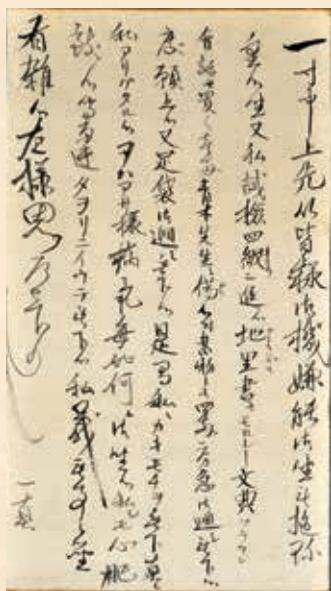
小川一真は万延元年（1860）、忍藩士原田庄左衛門の次男として忍城下に生まれ、幼少のとき同じ藩士の小川家の養子となりました。22歳のとき写真技術習得のため単身渡米し、帰国後は写真家として活躍するとともに、写真製版を実用化し多くの印刷物を刊行しました。その中には日清戦争や日露戦争、明治天皇の大葬の礼などを記録した写真帖も含まれています。また、千円札に使用された夏目漱石の肖像写真を撮影したことも知られています。

写真の手紙は少年時代の小川一真が書いたものです。一真は藩校の一つである培根堂で学んだ後、12歳のときに東京に出て有馬私学校に入学しました。この学校は元久留米藩主有馬頼威が明治5年（1872）に設立した私立学校で、英語の他漢学や洋算などを

教えていました。教師の中には、元忍藩士で藩校洋学館の英語教師だった青木田治（輔清）もいました。

手紙の内容は、教科書の購入代金を青木先生から借りたので至急送ってほしいことや、足袋も送ってほしいこと、祖母の病気の具合を心配していることなどが書かれています。手紙の本紙に年月日や宛名は記されていませんが、年代は有馬私学校に入学した明治6年、宛先は国元にいる実父かと思われれます。

教師の一人に写真が趣味の英国人ケンノンがいました。彼は時々撮影のために町へ出掛けるのですが、当時の人々は写真を撮られることに抵抗があり、レンズを向けると石を投げつけられました。そこで、ケンノンは用心棒兼通訳として一真を連れて行くようになり、写真に興味を持った一真に英語の『写真術の手順と方法』を貸してくれました。



小川一真の手紙

このときの体験が後に写真家を目指すきっかけとなりました。近代日本を代表する写真家の一人である一真のルーツは、少年時代の学校生活にあったのです。

（郷土博物館 鈴木紀三雄）

特定非営利活動法人 行田観光物産会

「行田の魅力をもっと多くの人に知ってもらいたい」という熱い思いを胸に活動しているのが特定非営利活動法人行田観光物産会です。

同法人は映画「のぼうの城」公開を機に、平成23年4月に市内の商店、飲食店、農家などさまざまな分野の事業者が集まり設立されました。「見る」「食べる」「買う」に加え「体験する」の4要素を観光の柱とし、多岐にわたる事業を展開。各会員の専門分野を生かした商品開発や、地元目線で選んだ名所、体験事業を紹介した観光ガイド「行田の迷い方」の発行、商店街と協力し昔ながらの縁日を再現した「行田あきんど市」の開催などを行ってきました。魅力発信から商店街の活性化につながる活動が評価され、平成27年には県の「元気な商店街応援事業表彰」を受賞しました。

事業者同士のネットワークと結束力が強みの同法人。今後も新たなアイデアで行田を盛り上げてくれることでしょう。

【代表理事】戸塚 昌利 【電話番号】556-3467

つながる ひろがる みんなのチカラ

～市民公益活動団体紹介～②



多くの人出でにぎわった「行田あきんど市」

今月の表紙

1月8日、新成人を祝う会が産業文化会館ホールで行われました。

今年この式典に参加した新成人は684人。会場前では、華やかな振袖や真新しいスーツに身を包んだ新成人が友達との再会を喜んでいました。式典では、中学時代の思い出を振り返るスライドショーや豪華景品が当たる抽選会が行われ、大いに盛り上がりました。

- 市報ぎょうだに掲載されているあなたの写真を差し上げます。ご希望の方は、広報広聴課広報広聴担当（内線318）まで。
- 市民の皆さんの市政に対するご意見をお待ちしています。
- 市報をダイジェスト版に録音したものを希望者宅にお届けします。ご希望の方は、広報広聴課広報広聴担当（内線318）までご連絡ください。

